



井原市の花 バンジー

# 井原市立井原市民病院

## 病院だより

No.39

2019(令和元)年  
8月発行

日本医療機能評価機構 病院機能評価3rdG:Ver1.0 認定

### 病院敷地内一斉清掃



## 地域とともに歩む、より愛される病院を目指して

### Mission (使命)

地域住民の尊厳を守り、命を守り、  
健康増進を支援する

### Vision (将来展望)

いつでも安心してかけられる、  
身近で愛される急性期病院

内科

循環器内科

外科

消化器外科

整形外科

眼科

小児科

脳神経外科

放射線科

麻酔科

耳鼻咽喉科

リハビリテーション科

婦人科

泌尿器科

皮膚科

救急科

# 挨拶



事務部長 田平 雅裕

平素から皆様方には、当院の運営並びに地域連携にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

野崎事務部長の後任として、4月から事務部長に就任いたしました田平雅裕です。身の引き締まる思いですが、病院・地域に貢献できるよう誠意と熱意を持って取り組む所存でございますのでよろしくお願いいたします。

さて、当院は自治体病院として開設以来、患者さまの満足と幸せを願い、地域と密着した医療を提供することを目標に掲げて運営してまいりました。

そうした中、近年の急激な高齢化や医療の高度・専門化などにより病院を取り巻く環境は大きな変化を続けております。当院におきましては、元気な井原、市民が健康で安心して暮らせるよう、地域の中核病院としてさらなる経営改善と医療の質の向上に努めるとともに、高機能病院や地域の医療機関、介護施設等との連携を進め、地域包括ケアシステムの構築を推進していく必要があると考えております。また、院内に設置した「患者さまの声」や「患者さまアンケート」などにより、病院施設の改善や職員の接遇改善なども引き続き積極的に進めていく所存であります。

地域の皆様方から信頼され、愛される病院をめざし、合地院長を中心にスタッフ一丸となって日々努力してまいりますので、なにとぞ皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2019(令和元)年7月

# 研修会報告

## 新採用職員研修

副看護師長 飯島 芳枝

新採用職員を対象にした研修活動の報告をいたします。

今年度の研修対象者は15名でした。例年よりも大人数でしたので賑やかな研修会となりました。

15名の所属は診療部、看護部、事務部、薬剤科、栄養管理科と多岐に渡るため、それぞれのスケジュール調整を綿密に行い対象者全員が受講できるようにしました。

講師は、当院の先輩職員たちです。「病院事業概要・就業規則」「感染防止」「医療安全」について職務の合間をぬって講義してくれました。

受講者たちは、地域における当院の使命や、公務員としての心得や、感染の標準予防対策や、安心安全に医療を提供するための基本的な考え方を学習しました。

私も若かりし頃に受講したのですが、時を経て改めて研修内容を聞くと、ますます研鑽を重ねていく必要があると感じました。まだまだ未熟な新採用職員たちですが、今後ともよろしく願いいたします。



## 医療安全全体研修会（令和元年度第1回）

医療安全管理者 看護師長 三宅 泉

2019（令和元）年6月21日、今年度第1回目の医療安全全体研修会を開催しました。今回は、倉敷中央病院の橋本徹先生をお招きして「確認する文化」と題してご講演いただきました。終業後で疲れている中ではありましたが、153名の職員が拝聴しました。

当院では、思い込みや、〇〇であろうと自分勝手に考えて行った行為がインシデント（事故に至る可能性のあった出来事）に繋がってしまうケースが多く見られます。また、職員が考えるインシデントへの改善策には、必ずと言っていいほど「確認を徹底する」と書かれています・・・しかし、また同じインシデントを繰り返してしまいます。真に確認するとはどういう事なのでしょう？有効な確認方法とはどんな方法なのでしょう？

「医療行為は確認から始まる」と言われているように、疑問に感じた時は声に出して、同僚や医師に確認するという基本的な行為が大切なのだ、今回

の研修を通じて改めて実感しました。今後とも、確認を行う作業は、患者さまの安全を守るだけではなく、自分自身の身を守る結果にも繋がるのだということを忘れずに、当たり前前の行為を、当たり前に行える様に職員一丸となって取り組んでまいります。



## N95マスク装着実践講座

看護師長 感染管理認定看護師 柳本 亜由美



医療環境における結核菌伝播予防のために、感染性結核の疑いがある患者さまや、確定した患者さまが隔離されている病室に入室する際には、N95マスクなどの呼吸器防護具の使用が必要であるとされています。

我が国では、明治時代から昭和20年代頃まで「国民病」「亡国病」と恐れられていた結核ですが、国をあげて予防・治療に取り組むことによって、当時の百分の一以下にまで死亡率が減少しています。しかし世界的に見ると、日本はまだ「結核中蔓延国」です。岡山県でも年間200人以上の方が発症し、その中には当院で診断される方もおられます。

今回、医療従事者自身が感染することを防ぐために、N95マスクの正しい装着とセルフチェック方法を改めて学びました。測定機器でマスクからの漏れ率を確認することで、自分の顔にフィットするマスクを選択

することができました。医療従事者の結核発病リスクは、その他の職業の方よりも約4倍高いと言われていきます。自分自身を守り、自分自身が感染源とならないためにも、適切にN95マスクを装着することは重要なことであると改めて感じました。



## 医療介護ネットワークまいつる連携

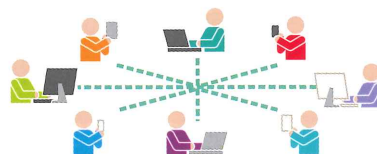
看護師長(兼)地域医療連携室副室長 崎谷 由美子



地域包括ケアシステム構築に向けて、2014(平成26)年6月に「医療介護ネットワークまいつる連携」を立ち上げてから早5年が経過しました。各関係機関での連携強化を図るために、「顔の見える関係づくり」を目的として、毎月テーマを決めてグループ討議や意見交換のもとに相互理解をすすめてきました。当初は、

市内の行政や介護事業所・施設からの参加が主でしたが、回数を重ねるにつれて、調剤薬局や市外事業所からの参加も増えました。また、徐々に関係性にも変化が見えて、連携が取りやすくなりました。さらに、退院支援にもご協力をいただいていますので、患者さまの在宅生活への移行が円滑に行えています。

皆さまのご協力のもと6年目を迎えた現在では、年4回定期的に開催して、情報交換を行っています。今後も、さらなる在宅医療連携の強化に向けて継続的に活動を行うことで、地域包括ケアシステム構築の一助になれるように努めてまいります。



## 療養環境整備



### 病院敷地内一斉清掃

主任主事 石崎 智英



患者さまや、ご家族の皆さまが気持ちよく当院を利用していただくことや、職場環境の美化と働きやすい環境づくりを目的に、2019(平成31)年4月25日(木)の就業後、駐車場を中心とした清掃作業を行いました。

仕事が終わってからの作業でしたが職員90人以上が参加して、草取り作業等に汗を流しました。

1時間程度の作業でしたが、ごみ袋は70袋以上にもなり、環境整備に貢献できました。

また清掃作業を通じて、職員同士のコミュニケーションも図る事ができましたので、普段以上に交流が深まったと感じています。当院を利用される方々への良好な療養環境の提供と、職員一人一人にとって働きやすい環境整備の一助となるように、今後も継続して行ってまいります。



### 接遇向上キャンペーン

診療放射線技師

小森 陽一郎



接遇向上キャンペーンを実施しましたのでご報告いたします。

2019(令和元)年6月朝、当院に出勤する職員たちへの「声掛けや、チラシ配り」を、実施しました。職員はみんな、「何ごと?」と、驚いた表情でしたが、キャンペーンの趣旨を理解すると「分かりました、気をつけます。」などと、引き締まった顔つきに変わりました。

当院の職員は、常に接遇への意識は持っていますが、どうしても患者さまとのお付き合いが長くなってくると気が緩み、失礼な言葉を使ってしまう現状はあります。患者さまに気持ちよく当院を利用していただく

めにも、職員の接遇レベル向上の課題は重要だと考えます。

今回のキャンペーン活動は、職員の接遇意識の向上につながると共に、患者さまの療養環境が良くなる結果に繋がると信じています。これからも、当院の活性化や、地域医療の維持・発展のために、当院職員は尽力を注いでまいりますので、お気づきの事がございましたらお気軽にお声がけ下さい。



## ボランティアの会「ひまわり」

「ひまわり」の皆さまの花壇整備により、井原市の花『パンジー』が5～6月にかけて見頃となりました。様々な色のパンジーが当院の玄関を彩ってくれました。



# 資格取得

## 消化器内視鏡技師

看護師 小玉 美幸



近年の目覚ましい内視鏡技術の進歩により、診断だけではなく高度な技術を要する内視鏡治療が行えるようになりました。内視鏡看護においても、より細やかな安全管理や、更なる専門的な知識が求め

られています。

そんな中、内視鏡診療に携わるエキスパートとして、もっとステップアップしたいという思いから、実務経験・研修を経て、この度内視鏡技師資格を取得することができました。

内視鏡検査を受けられる患者さまは、不安や恐怖、緊張などいろいろな「心の葛藤」を抱えて来られます。そのような中で、私たち内視鏡に関わるスタッ

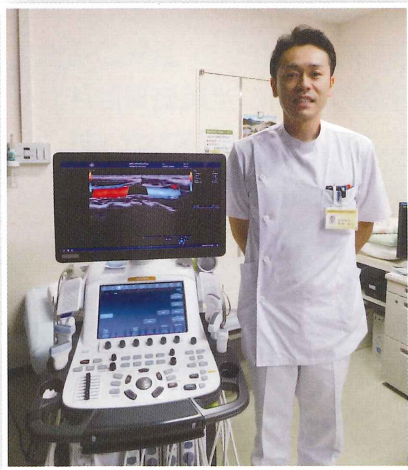
フは、患者さま個々の気持ちや、身体の状態を理解して、少しでも不安や、苦痛や、不満などを軽減できるように最大限の努力を惜しまない内視鏡看護を目指しています。

初めて検査を受けられる方や、人間ドックのように年に一度の検査を受けられる方など様々ですが、「あの看護師さんにもう一度会いたい」と思っただけのような看護を目指して、日々研鑽してまいります。



## 日本超音波医学会認定 超音波検査士（健診領域）

臨床検査技師 関藤 恭弘



この度、日本超音波医学会認定超音波検査士の認定試験に合格し、健診領域の超音波検査士の認定を受けましたことをご報告させていただきます。

超音波検査士とは、体表臓器、循環器、消化器、泌尿器、産婦人科、健診、血管の7領域にわたり、超音波検査の優れた技能を有するコメディカルスタッフを専門の検査士として認定し超音波医学ならびに医療の向上を図り、もって国民の福祉に貢献することを目的とした制度です。超音波専門医の推薦を受けて、症例のレポートを提出し、基礎・臨床の筆記試験に合格し晴れて超音波検査士となることが出

来ます。

現在、当院では様々な領域に対して超音波検査が行われており、高い技術・判断能力が求められています。超音波検査士として患者さまからはもちろん、医師や他のスタッフからも信頼され、質の高い医療が提供できる様に、今後も技術・知識を向上させる努力を続けていきたいと思っております。



# 永年表彰 勤続15年

副看護師長 原田 康江



この度は、永年勤続の表彰をいただき、誠にありがとうございます。

今まで勤めさせていただけたのは、当院の上司や、同僚をはじめ、一緒に仕事をしている皆さまや、私の家族の協力と力添えの

おかげであり、何よりも患者さまやご家族の笑顔のおかげだと感謝いたしております。

振り返ってみますと、十数年前、美星町国民健康保険病院（現：井原市立美星国保診療所）から勤務地変更を命ぜられて、当院で勤務することになりました。当時は、毎日が不安とストレスでいっぱいでしたが、病棟の師長さんやスタッフの皆さんに温かくご指導いただけたので、何とかやってこれました。今でも時々は初心に戻り、後輩に温かく接し、自分の経験を活かして指導していきたいと思ひます。

自分としては、もう 15 年？という思ひで、この節目はまだまだ通過点に過ぎません。

今後は当院の更なる発展のために努力すると共に、患者さまの立場に立ち、安心して医療を受けられる環境を目指してまいりたいと思ひます。これからも宜しくお願ひいたします。



## 口から食べる幸せを守り隊

栄養療法サポートチーム看護師

関 亜弥

誤嚥性肺炎は高齢者に多いと言われています。

場合によっては、口から食べることを中止せざるを得ない場合もあります。

こちらのコーナーでは、口から食べる幸せを守るための豆知識をご紹介します。



こんなサインはありませんか？

- 痰が増えた
- 食事中にむせる、咳がよく出る
- 唾液が口の中にたまる
- 飲み込むのに苦労することがある
- 固いものが噛みにくくなった
- 舌に白い苔のようなものがついている
- 声が変わった（ガラガラ声や、鼻に抜ける声）
- よく咳をする
- 食べ残すことが多い、食べる量が減った
- 体重が減った

ご家族や身近な方にこのようなサインが出ていたら、嚥下障害の可能性があります。ご高齢の方は特に注意が必要です。かかりつけの先生に相談しまししょう。

## 糖尿病教室・健康教室・子育てサロンのご案内



### 健康教室(偶数月 第3水曜日 11時30分～ 外来待合ホール)

| 日時        | テーマ                          | 担当    |
|-----------|------------------------------|-------|
| 10月16日(水) | 「医療被ばくと発がんリスク」               | 放射線技師 |
| 12月18日(水) | 「知っておいていただきたい色々な医療制度について(仮)」 | 医事課   |
| 2月19日(水)  | 「アドバンスケアプランニングについて(仮)」       | 看護師   |

### 糖尿病教室(毎月第1火曜日 11時30分～外来待合ホール)

| 日時       | テーマ              | 担当    |
|----------|------------------|-------|
| 9月3日(火)  | 「知って得する血糖値対策の食事」 | 管理栄養士 |
| 10月1日(火) | 「演題未定」           | 視能訓練士 |
| 11月5日(火) | 「演題未定」           | 理学療法士 |



※糖尿病治療食が400円で試食ができます。ご希望の方は2日前までに連絡を下さい。

### 子育てサロン(毎月第1又は第3金曜日 14時30分～外来待合ホール)

講師：岡山大学名誉教授、新見公立大学副学長 小田 慈 先生

| 日時        | テーマ                                      |
|-----------|--|
| 9月20日(金)  | 「発達障害 ～普通と違うってどういうこと～」                   |
| 10月18日(金) | 「発達障害 ～今私たちにできることは～」                     |
| 11月1日(金)  | 「感染症について聞いてみよう<br>～知っておきたい!かかる前とかかったら!～」 |



## 第9回健康まつりを開催します

健康まつりも今年で9回目を迎えます。

皆さんに楽しんでいただけるように、スタッフ一同さまざまな企画を準備しています。医療・健康に関する講演や、ふれあいバザー、体験企画など楽しい催しもいっぱいです。是非ご来院ください。

■日時：11月17日(日) 10時～14時 ※雨天決行

### 編集後記

今回号より、広報委員会が新しいメンバーになりました。多職種の職員が集まって、当院の情報をより多くの方々に発信する使命を果たしたいと意気込んでおります。未熟なところもありますが、今後の「病院だより」にもご期待下さい!!



広報委員会  
広報誌チーム一同



2019年4月発行の井原市民病院だより No. 38につきまして、誤りがございましたので訂正させていただきます。

5ページ 誤) 徳長 芳美(看護師)  
正) 徳永 芳美(薬剤師)  
以上、訂正し、お詫び申し上げます。